

最先端機械導入により水稻畑作花きの効率的な大規模法人経営を展開 ～有限会社きやじ（北海道石狩郡当別町）～

経営体の概要

事業実施前：平成5年
基幹作物：水稻（移植）、小麦、花き
（カミソウ、カーネーション等）
経営面積：20.0ha

事業実施後：令和4年
基幹作物：水稻（移植・WCS・乾田直播）、
小麦、花き（ユリ等）
経営面積：93.0ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 用水不足、深水かんがい等用水手当がなく、水管理に苦慮。
- 用排水施設の老朽化等が進行し、維持管理に多大な費用労力。

平成5年
当別幹線用水路の老朽化
状況（当別町内）



【事業実施後】

- 国営当別土地改良事業（平成6年～平成29年）により用排水路及び揚水機場が整備され、用水の安定供給により生産性が向上。
- 関連事業による大区画ほ場では、自動操舵トラクターや直進アシスト田植機等による作業効率を向上させ経営規模を拡大。地域振興作物の花きを基軸に水稻の安定生産と低コストを実現。

営農改善、経営転換等のポイント

①作物の変化

本事業による用水の安定供給、関連事業によるほ場の乾田化が図られたことにより、水稻の作業時間が大幅に軽減したことから、水稻及び小麦の作付を拡大するとともに、新たに乾田直播やWCSに取り組む。また、水稻の適期に深水かんがいが可能となり、単収が510kg/10aから630kg/10aに増加。さらに、規模拡大に対応し水稻育苗を密苗方式に変更し、苗箱数を大幅に減らし、育苗コスト・移植作業労力を削減している。



水稻乾田直播

②省力化・経営規模拡大

基幹用排水施設の整備を契機とした、関連事業のほ場整備により0.2ha区画から1.0～3.0ha区画となり、自動操舵トラクターや直進アシスト田植機、可変施肥機などを導入し、機械の作業性向上と省力化が図られたことで、経営規模を大幅に拡大。



自動操舵装置
（ブームスプレイヤー）

③機械・設備の導入・整備

大区画化に伴い、大型トラクター（100ps以上）5台に自動操舵装置を導入。現有の直進アシスト田植機をロボット田植機に更新し、さらなる農作業の効率性を追求。花きの出荷に当たっては、自社保有の選花施設で選花・梱包し、出荷している。



選花施設

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：北海道石狩郡当別町
受益面積：3,324ha
事業期間：平成6年度～平成29年度
事業目的：用水改良、排水改良
主要工事：貯水池1箇所、揚水機3箇所、
用水路30条L=53.0km、排水路1条L=5.1km

位置図



当別地区

＜問い合わせ先＞

北海道開発局
農業水産部農業計画課
計画第1係
電話：011-709-2311
（内線5522）

（令和5年度調査時点）